

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじん きたりゅうしょくぶんかい 一般社団法人喜多流職分会		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	代表理事 友枝昭世		
制作団体所在地	〒 141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9	最寄り駅(バス停)	目黒駅前
電話番号	03-3491-8813		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじん きたりゅうしょくぶんかい 一般社団法人喜多流職分会		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	代表理事 友枝 昭世		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
制作団体 設立年月	2019年11月		
制作団体組織	役職員 代表理事友枝昭世 理事 高林皓二・香川靖嗣・塩津哲生・栗谷能夫 監事 金子敬一郎	団体構成員及び加入条件等 シテ方喜多流能楽師として演能活動を行う能楽師 20歳以上 会員(能楽師)30名 準会員(能楽師)5名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	友枝 雄人
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	勝田 良子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	taketomosoleil@ybb.ne.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>【一般社団法人喜多流職分会】 令和元年11月設立 喜多流の伝承を守り伝えて流儀の興隆を図ることを目的とし設立。 一般社団法人として活動する以前は喜多流能楽師の集団として喜多流というくくりで活動。個々に受ける公演をサポートし合いながら開催。さらなる活動の場を広げるべく一般社団法人として活動を令和元年より開始。 代表理事は現在の喜多流宗家預かりで重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)友枝昭世。</p> <p>一般社団法人喜多流職分会の能楽師が属する喜多流は、能楽のシテ方5流の中で他の流儀よりも幾分小規模ですが、文化勲章も受章した十四世喜多六平太はじめ人間国宝認定者を4人も輩出しています。能楽は武家の式楽として長い歴史を誇っていますが、その中で喜多流は特に武士気質が強く、素朴ながら豪放な遠目にも力強さが感じられる芸風が特徴です。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>(直近主催公演) 令和3年度 喜多流養成会「通小町」他 令和3年度 喜多流素謡・仕舞の会「岩船」他 令和4年度 喜多流養成会「鶉之段」他 令和4年度 喜多流素謡・仕舞の会「竹生島」他 令和5年度 喜多流養成会「雷電」他 令和6年度 喜多流養成会「黒塚」他</p> <p>令和元年より現在の一般社団法人化したため令和5年度までは学校等の公演実績は文化庁令和2年度第3次補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」、令和3年度補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」のみとなります。</p> <p>令和3年11月11日 岩手県気仙沼郡住田町立有住小学校 令和3年11月30日 長崎県佐世保市黒髪小学校 令和3年12月6日 岩手県平泉町立中学校 令和3年12月6日 岩手県平泉町立小学校 令和3年12月8日 岩手県一関市立桜町中学校 令和4年11月28日 大田区立矢口中学校</p> <p>令和6年度より「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」に参加</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>令和6年9月9日ワークショップ実施 千葉市立北貝塚小学校 特別支援学級 令和6年10月24日同校にて本公演実施予定</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/ixQewvpNVXQ</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	能楽に触れよう！			
企画のねらい	「能楽」をまだ一度もご覧になったことがない生徒も多い中、能面や能装束、長刀等の小道具に触れ、囃子や能の型を体験することにより「能楽」に興味を持っていただく効果を得られると考えます。体験と能の公演を重ねることにより、能鑑賞も楽しんでいただけるとともに、今後も日本の伝統文化への関心を持っていただく一助になればと期待しております。			
演目概要・演目選択理由	<p>能「船弁慶」</p> <p>【演目概要】 兄の源頼朝と不仲となった義経は弁慶や従者と共に都を出て西国へ落ちようとしています。義経を慕う静御前も義経についていこうとしますが弁慶の進言を受け、都へ戻るよう義経より言い渡され涙ながらに見送ります。船に乗り込み出発した義経一行を荒天と激しい波が襲い、荒れた海上に西国で滅亡した平家一門の亡霊が現れます。中でも平知盛の怨霊は自分が沈んだように義経を沈めようと長刀を持って襲いかかります。義経と知盛との戦い、弁慶の祈祷によって折られた亡霊は次第に遠ざかりついに見えなくなってゆきます。今回の公演では後場の嵐の海上での亡霊との戦いの迫力ある活劇シーンを上演いたします。小鼓・大鼓による嵐を描写する演奏もシテの動きと共に迫力を感じられる人気曲です。</p> <p>【演目選択理由】 能「船弁慶」は学生の皆様も一度は昔話等でご覧になった方が多いと思われる源義経や弁慶が登場する演目で、能の中でも人気曲です。今回半能として上演する後半部分は義経と平知盛の怨霊の大海原での対決のシーンで激しく急テンポな囃子方の演奏、太刀や長刀を使つての戦いと能の迫力を間近で感じていただけます。当日前半の体験学習で触れていただいた道具が出てくる点も生徒の能楽鑑賞への興味を引き出すことができると考えます。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	今回の企画では生徒の皆様実際に「能」を体験していただくことに焦点を当て、「能」を構成する様々な要素に直に触れていただきます。普段の能楽公演では体験できない要素を盛り込み、生徒の興味を引き出してゆきたいと考えます。ブースでの体験後は能楽師による迫力有る「船弁慶」の一場をご覧いただき、先に体験した様々な要素が組み合わさって完成される「能」の真髄を体感していただきます。劇中の話を一緒に話していただく体験も合わせて行います。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	全員	
		鑑賞人数目安	200名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>本公演演目 能「船弁慶」 脚本 喜多流謡本に拠る 演出 友枝雄人</p> <p>【プログラム構成】 第一部 能に触れる体験会 60分 ●はじまりの挨拶 「能楽体験について」 能楽師による体験内容の説明(5分) ●囃子方による囃子の演奏 (5分) 大鼓・小鼓・笛・太鼓の迫力ある演奏を体感していただきます。 ●各ブースに別れて能楽体験(50分) ブース1: 能面を近くで見よう 能面の中から見える景色 ブース2: 装束に触れてみよう 装束の重みや近くで見た時の織の美しさ 文様についての説明 ブース3: 能の小道具 長刀や刀を扱って見よう ブース4: 能の大道具を近くで見よう ブース5: 囃子の道具 小鼓を演奏してみよう (休憩10分) 第二部 半能「船弁慶」 30分 ●ワークショップで体験した謡の発声のおさらい(5分) ●半能「船弁慶」鑑賞・謡での参加(25分) 出演者による終わりの挨拶 公演時間計90分 休憩10分 別添1・2</p>			
出演者	別添3メンバー表添付			

公演時間 100 分

<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>友枝昭世: 一般社団法人喜多流職分会代表 喜多流宗家預かり 2000年紫綬褒章受賞。2003年日本芸術院賞受賞。2008年重要無形文化財保持者各個人認定(人間国宝)。2011年日本芸術院会員。 2020年旭日中綬章受賞。</p> <p>友枝雄人: 能楽協会会員。財団法人十四世六平太記念財団理事。重要無形文化財総合認定。「五蘊会」主宰。「観ノ会」参加。平成21年(2009年)小学館白洲賞受賞。コクーンアクターズスタジオでの講師や東京都及びアーツカウンシル東京、芸団協主催「大人のための伝統文化・芸術体験事業」にも携わり能の体験指導の経験も豊富。</p> <p>金子敬一郎: 能楽協会理事。財団法人十四世六平太記念財団業務執行理事。重要無形文化財総合認定。流儀のみならず能楽協会でも理事を勤め能楽の普及活動に尽力。</p>						
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 18 名 スタッフ: 3 名 合 計: 21 名</p>			<p>運搬</p>		<p>積載量: 2 t 車 長: 6 m 台 数: 1 台</p>	
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 無</p>		<p>前日仕込み所要時間</p>			<p>時間程度</p>	
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>	
	<p>9時</p>	<p>9時～12時</p>	<p>13時～14時40分</p>	<p>10分</p>	<p>14時40分から16時</p>	<p>16時半</p>	
<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>							
<p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>			
	<p>13日</p>	<p>13日</p>	<p>10日</p>	<p>13日</p>			
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>			
	<p>13日</p>	<p>10日</p>	<p>13日</p>	<p>15日</p>			
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>			<p>計</p>	<p>100日</p>		



別添1 公演前半/「能楽体験」会場レイアウト有

構えや運びの体験。装束や面、能の小道具を間近に見て触れてみよう。



能楽体験の後は「船弁慶」の迫力ある演能鑑賞。謡を生徒全員で謡っての参加。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会】

ワークショップのねらい	<p>能楽の謡の発声体験や装束付けを間近でご覧いただくことにより、学生には難解と思われがちな能を身近に感じていただきます。</p> <p>日本の伝統文化である「能楽」は現代では一部の愛好家には馴染みがあるものの、実際にご覧いただいたことがある方は日本人の中でも割合が低い現状となっています。それには能楽に触れる機会が無かったという事が大きな要因と考えられます。また、ただ与えられた物を見るだけでは前のめりな鑑賞は期待できません。</p> <p>今回のワークショップでは公演で全員に参加していただく謡の稽古もしていただき、より積極的に観能につなげる企画といたします。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	200名(最大400名位まで)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>事前ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はじまりの挨拶 ●「能」ってどんなもの？(10分) <p>「能」って何？と思う生徒も多いことと思います。まずは「能」の歴史をわかりやすく解説いたします。600年以上昔の日本人はどのように「能」を楽しんだのか、どのようにして現代まで文化として続いてきたのかを能楽師が学年に合わせてわかりやすく説明いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●装束着付体験(30分) <p>先生と生徒各1名に能装束の着付けを体験していただきます。</p> <p>船弁慶に登場する静御前(女性)と義経(男性)の装束を着付けする過程をご覧いただきながら着付けの方法や道具、能面について解説いたします。</p> <p>生徒が興味深くご覧いただけるよう先生や生徒にモデルとなっていただき、普段の服装から装束姿に変わっていく様子をご覧いただけます。</p> <p>休憩10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ●能「船弁慶」ストーリー解説(15分) <p>学年に合わせて本公演でご覧いただく「船弁慶」をより楽しくご覧いただけるような曲目解説をいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●能の発声体験(20分) <p>まずは能楽師の謡を聞いていただきます。お腹から出す発声方法は日本古来の発声方法です。その迫力ある謡の後は、生徒の皆様も立ち上がり発声方法のレクチャーを受けていただきます。その後は本公演の際に皆様と一緒に発声していただく「船弁慶」の一節を練習し、本公演に備えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●質問コーナー(5分) <p>生徒様に挙手で質問をしていただいても、代表の方をあらかじめ決めて質問していただいても結構です。生徒の皆様が聞きたい質問に答えさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●終わりの挨拶 <p>公演時間計80分 休憩10分</p>		

シアター形式で生徒には椅子か床に座っていただきます。
発声体験の稽古の際はそこで立つか座ったままでご参加いただけます。
何名かの生徒に前に出ていただくことも可能です。



【シアター形式参考画像】

参加人数によっては能楽師を囲むような配席も可能です。事前にご要望を伺い対応させていただきます。



●能の発声体験

プリントに書かれた詞章を見ながら腹式呼吸で発声する発声方法を体験していただきます

●装束着付体験

舞台上での生徒・先生への装束付け

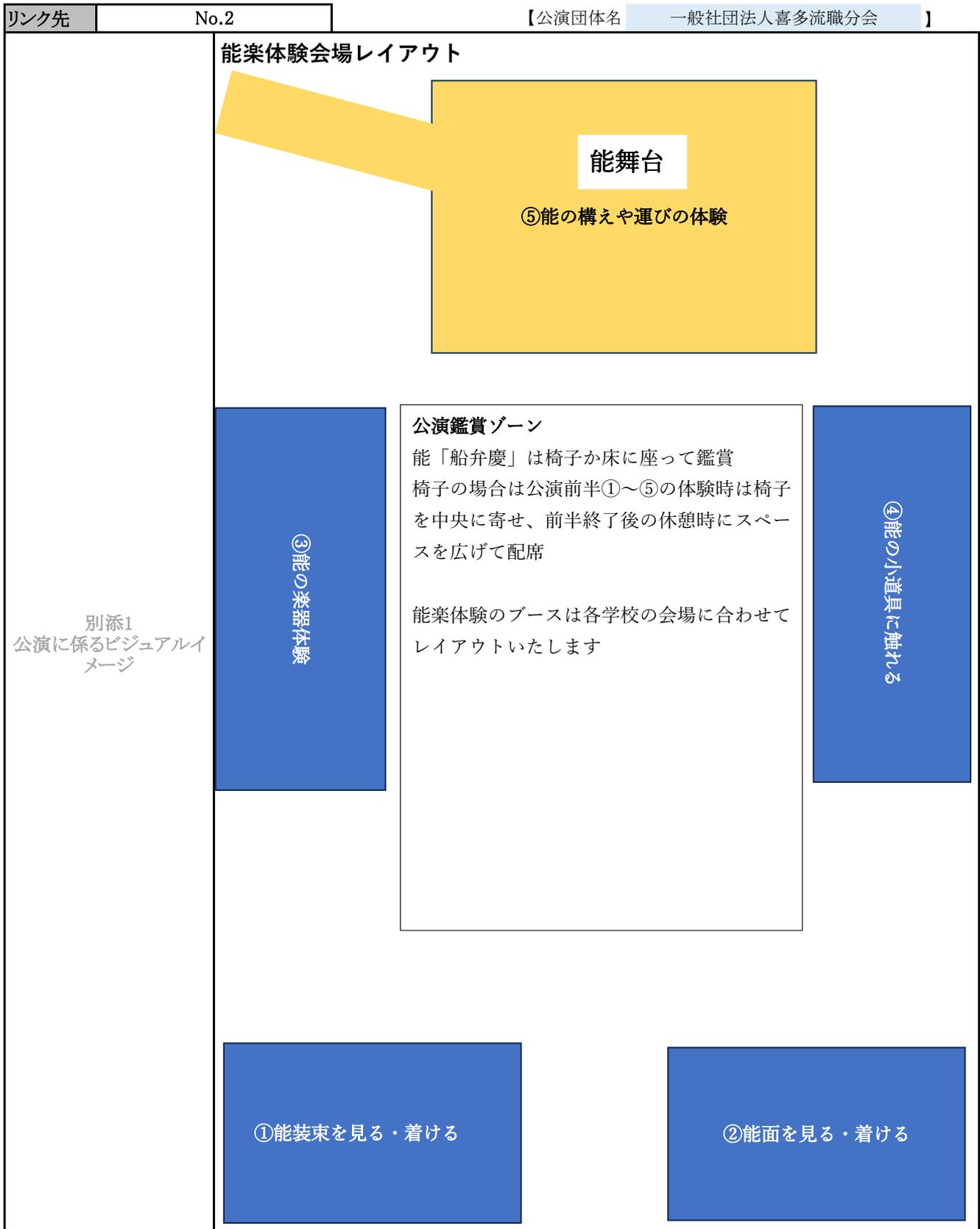
着付の過程をご覧いただき能装束の作りを知っていただきます



その他ワークショップに関する特記事項等

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由 【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会】	
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>”このような機会がないと体験できないこと”本企画はこの点に注力し生徒が普段個人では出来ないことを体験していただきたいと思います。</p> <p>能装束を間近に見て、着けてみる。能面を着けてその視野の狭さを体感する。能の楽器で実際に音を出して難しさを知る。能舞台での構えや運びが日常の姿勢とはかけ離れた体勢であることへの驚き。演能を見ているだけではわからないことを沢山体験していただくのが今回の目的です。実際に舞台上で使用する能面や能装束は大変貴重な品々で文化財や美術館に展示されるようなものも多数あり、それを間近で見て、触れることはとても貴重な経験になることと思います。この企画は普段の公演ではなかなか実現しえないものですが、広い体育館というスペースを活用することによって実現が可能となります。大道具スタッフと能楽師で連携し設営をいたします。出演の能楽師は能への知識も深く、生徒の質問や疑問にもその場でお答えします。そのことによって生徒の能に対する興味を深めていきたいと考えます。なんとなく見るだけではない体験型の公演をお楽しみいただけます。</p> <p>体験後の観能「船弁慶」は動きも激しいため先に能面の視野の狭さを体感した皆様には驚きの動きかと思えます。また荒波の中を想像させる囃子の迫力ある演奏も楽器演奏挑戦後ではその難しさを感じていただけます。</p> <p>間近に見て、触れて、体験していただくことに能楽師一同一丸となって取組ませていただきます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>今回のワークショップ及び公演には出演者に学校公演経験者の能楽師を編成し、学年に合わせたわかりやすい説明を行います。学校毎に参加の学年や人数も違うことから、それぞれの学校毎に事前に打ち合わせをさせていただき、体験のグループ分け等ご希望に添うようにいたします。</p> <p>本公演時の能楽体験ではブース毎に体験の内容を変えてそれぞれ体験していただきやすいように区分いたします。設営には能楽の舞台設営をする専門業者にも協力を得て生徒が見やすい配置、スムーズな導線を学校毎にプランニングいたします。各ブースには能楽師を複数配置し生徒の体験のお手伝いをし、その場での質問にも丁寧にお答えいたします。</p> <p>生徒が楽しく能楽を体験する中で、能楽が600年以上の歴史を持ち現代にも継承されている深みを感じていただき、これをきっかけに日本の伝統文化の奥深さを知り、能楽への興味を持っていただけるような公演にしたいと考えております。</p> <p>【学校との連絡や調整について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演実施前には実施校の御担当の先生と詳細な打合せをし、それぞれの学校の形態に合った実施方法をご提案させていただきます。 ・連絡は電話やメール等学校のご希望に合わせ、先生方に負担の少ないよう努めます。 ・実施時間は学校の授業時間に合わせた対応をとり、他の授業への影響が出ないようにいたします。



リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会 】
別添3 メンバー表	<p>公演日期間によりシテ方10名・ワキ方2名・狂言方2名・囃子方4名を選定</p> <p>シテ方 <input checked="" type="radio"/>大村定 <input checked="" type="radio"/>友枝雄人 <input checked="" type="radio"/>金子敬一郎 <input checked="" type="radio"/>狩野了一 <input checked="" type="radio"/>内田成信 <input checked="" type="radio"/>高林呻二 <input checked="" type="radio"/>粟谷充雄 <input checked="" type="radio"/>粟谷浩之 <input checked="" type="radio"/>佐々木多門 <input checked="" type="radio"/>大島輝久 <input checked="" type="radio"/>友枝真也 佐藤寛泰 佐藤陽 谷友矩 高林昌司 狩野祐一 友枝雄太郎 金子龍辰</p> <p>ワキ方 <input checked="" type="radio"/>宝生欣哉 御厨誠吾 大日方寛 野口能弘 野口琢弘 等</p> <p>狂言方 <input checked="" type="radio"/>山本泰太郎 <input checked="" type="radio"/>山本則孝 <input checked="" type="radio"/>山本則重 <input checked="" type="radio"/>山本則秀 山本凜太郎 等</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>囃子方 大倉慶之助(大鼓) 亀井洋佑(大鼓) <input checked="" type="radio"/>成田達志(小鼓) 成田奏(小鼓) 曾和伊喜夫(小鼓) <input checked="" type="radio"/>一噌隆之(笛) 栗林祐輔(笛) <input checked="" type="radio"/>小寺真佐人(太鼓) 林雄一郎(太鼓) 等</p> <p>◎は重要無形文化財総合指定認定 出演者全員が能楽協会会員であり能楽公演で活躍しているメンバーが出演</p>	